別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(29年度)

事業実施主体名	, 構成市町村名	近隣市町村等 との連携	対象地域	実施年度	対象	事業内容	事業量	管理主体		利用率• 稼働率			被害防止計画の目標と実績												
争未关旭土体石											事業効果	作成 基	基準	目標			st額(万F				被害面			事業実施主体の評価	第三者の意見
(協議会名)		C+7,2E109	-0.%	1/2					Ма	13-120-		年度	年度	年度	対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率	基準値	目標値	実績値	達成率		
加美町烏獣被協善議会	加美町	なし	加美内		サル、 クマ、 イノシシ	有害捕獲	サル3頭 クマ4頭 イノシシ32頭							サル	37	33	50.7	-343 1.	1.69	1.5	3.77	-1095			
					サル	被害防除	行政区に対し て追い払い用 花火の配布 (11行政区 895本)							Ī	クマ	13.7	12	24.4	-629	1.1	1	1 3 -1900			
						被害防除	農業者に対し て電気柵等の 購入補助(8件 605,000円)						イノシシ	107.2	96	325.5	-1949	3.8	3.4	13.17	-2343				
					サル、 クマ、 イノシシ	有害捕獲	イノシシ45頭						タヌキ	11.9	9.5	15.1	-133	0.79	0.65	0.62	121.4				
					サル	被害防除	行政区に対し て追い払い用 花火の配布 (12行政区 1,002本)								ハクビシン	2	1.6	4.9	-725	0.25	0.2	0.3	-100	捕獲頭数は年々増えてしるものの、被害の減少には	↓ 協議会の取り組みは評価
						被害防除	農業者に対し て電気柵等の 購入補助(12 件737,000円)		計画に基づき防止施設等への 成を行うことで農業者、集落が実施 する鳥獣被害防止対策の一助となっている。				カラス	12.6	10	5.5	273.1	1.07	0.85 0.85 100 至 の f	るものの、被害の減少には 至っておらず、特にイノシシ の被害が拡大している。	できる。イノシシはこのような取り組みが継続され、周辺地域に広まることを期待したい。				
					サル、 クマ、 イノシシ	有害捕獲	サル8頭 クマ5頭 イノシシ49頭				集落単位で侵入防止柵を整備することで、設置圃場の被害が減少するとともに、集落の鳥獣被害への意識が高まった。 狩猟免許取得費用を助成することで捕獲者の数を増やすことができた。	26	25	29					#####	*##		#####	未設置圃場では被害が増大している。	これは、他の動物種も同様 であり、クマはイノシシの電 気柵によって対策を兼ねる	
					サル	被害防除	行政区に対し て追い払い用 花火の配布 (18行政区 1,302本)												#####		防止柵の設 者への啓蒙 入れていく。 な対策も検	防止柵の設置とともに農業 者への啓蒙活動にも力を 入れていく。また、広域的 な対策も検討していく必要	- いけ可能だが、共工は市		
						被害防除	農業者に対し て電気柵等の 購入補助(16 件1,441,000 円)											####		#	#####	າມ ໝາວ.			
						被害防除	狩猟免許取得 費用の補助(5 件61,082円)							-					#####				#####		
					サル	有害捕獲		止対策協	H29.11	100%															
					イノシシ	電気柵	2段 8,120m	止対策協	H29.7	100%									#####				#####		
					イノシシ	ワイヤー メッシュ柵	1,260m	加美町馬 獣被害防 止対策協 議会	H29.7										#####				#####		
															合計	184.4	162.1	426.1	-1084	8.7	7.6	21.71	-1183		

注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。 2:事業効果については、地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。